

表Ⅳ-1-6に、インフルエンザにおける仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計(真値)に対して、定点からの推計値は多く、その比は2000年で1.06倍、2001年で1.08倍、2002年では1.22倍であった。

以上、インフルエンザについて、2000年から2002年の罹患数推計値、95%信頼区間と吟味結果を示した。全国年間罹患数の2002年の推計値は2001年の約2倍であり、2000年とは同程度であった。性と年齢による違いの傾向はいずれの年次でも比較的類似していた。2001年・2002年の高年齢(推計値が小さい)を除くと、全体、性別と年齢別のいずれでも5%程度あるいはそれ未満であり、推計精度はある程度に確保されているとみなすことができた。一方、都道府県別にみると、推計値の標準誤差率はかなり大きく、推計精度が高くないとみなされた。都道府県の推計値は95%信頼区間と一緒にみることが肝要であろう。吟味結果からは、いずれの年次においても推計値が過大となっている可能性が示唆され、その程度は1.1倍～1.2倍程度と試算された。

表Ⅳ-1-1 基礎データと推計方法の概要（インフルエンザ）

対象疾患	インフルエンザ		
推計対象	全国年間罹患数、および、性、年齢、都道府県と週の各々別の罹患数の推計値と95%信頼区間		
基礎データ	定点に関する情報：	2002年の感染症発生動向調査から得た、 定点指定・報告状況、都道府県、医療施設特性 および、疾患、週、性、年齢階級別の報告数	
	全医療施設に関する情報：	平成11年医療施設調査から得た、 都道府県、医療施設特性	
推計方法	層ごとに定点の無作為選定を前提として、多項超幾何分布に従うことを利用（詳細は表Ⅳ-1-3を参照）。		
	推計の層： 都道府県、医療施設特性（病院の小児科、診療所の小児科のみ、 診療所の内科・小児科、病院の内科+診療所の内科のみ）		

表Ⅳ-1-2 全医療施設数と定点数（インフルエンザ定点）

	全医療施設	定点			
		2000年	2001年	2002年	
病院	内科	8,130	457 (5.6)	593 (7.3)	550 (6.8)
	小児科	3,575	730 (20.4)	562 (15.7)	648 (18.1)
診療所	内科のみ	37,454	470 (1.3)	498 (1.3)	501 (1.3)
	小児科のみ	3,411	1,155 (33.9)	1,180 (34.6)	1,200 (35.2)
	内科・小児科	23,842	1,844 (7.7)	1,704 (7.1)	1,760 (7.4)
計	76,412	4,656 (6.1)	4,537 (5.9)	4,659 (6.1)	

表IV-1-3 罹患数の推計方法

層（都道府県など）別の罹患数とその標準誤差		
罹患数の推計値：	$\hat{\alpha} = X / r$	
罹患数推計値の標準誤差：	S	
$S^2 = \frac{\sum i^2 \cdot N_i / N - (\sum i \cdot N_i / N)^2}{n - 1} \cdot n^3 (1 / N - 1 / n)$		
n	：全医療施設数	
n _i	：罹患数 i の医療施設数（未知の定数）	$n = \sum n_i$
N	：定点数	
N _i	：報告数 i の定点数	$N = \sum N_i$
r	：= N / n （定点抽出率）	
X	：全定点からの報告数（= $\sum i \cdot N_i$ ）	
α	：罹患数（推計の対象）	$\alpha = \sum i \cdot n_i$

罹患数推計値と標準誤差の別表現		
$\hat{\alpha}$	= Ave · n	
$S^2 = \text{Sig}^2 \cdot \frac{N - 1}{N} \cdot \frac{n}{n - 1} \cdot n^2 (1 / N - 1 / n)$		
Ave	：定点の報告数の平均値	
Sig	：定点の報告数の標準偏差	
層の和（全国）の罹患数、標準誤差と 95 % 信頼区間		
層の和の罹患数の推計値：	$\hat{\alpha}_k = \sum \hat{\alpha}_i$	
層の和の罹患数推計値の標準誤差：	S _k	
$S_k^2 = \sum S_i^2$		
$\hat{\alpha}_i$	：層 k の罹患数の推計値	
S _k	：層 k の S	
α_k	：層の和の罹患数（推計の対象）	
層の和の罹患数の 95 % 信頼区間： ($\hat{\alpha}_k - 1.96 \cdot S_k$, $\hat{\alpha}_k + 1.96 \cdot S_k$)		

表IV-1-4 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（インフルエンザ）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値	95%信頼区間	標準誤差率	推計値	95%信頼区間	標準誤差率	推計値	95%信頼区間	標準誤差率
	(万人)	(万人)	(%)	(万人)	(万人)	(%)	(万人)	(万人)	(%)
総数	959	918 ~ 999	2.1	403	381 ~ 425	2.7	874	836 ~ 913	2.3
男	490	470 ~ 511	2.1	205	195 ~ 216	2.7	444	424 ~ 464	2.3
女	468	448 ~ 489	2.2	198	187 ~ 208	2.8	430	411 ~ 450	2.3
0~4歳	155	146 ~ 163	2.8	77	70 ~ 85	4.9	184	171 ~ 197	3.6
5~9	200	191 ~ 210	2.4	79	73 ~ 85	3.9	184	174 ~ 193	2.7
10~14	104	99 ~ 109	2.4	47	44 ~ 50	3.3	144	136 ~ 151	2.8
15~19	72	68 ~ 76	2.9	29	27 ~ 31	3.5	65	61 ~ 68	2.6
20~29	111	104 ~ 117	3.1	53	50 ~ 57	3.4	92	87 ~ 98	3.0
30~39	113	106 ~ 119	2.9	51	48 ~ 54	3.1	96	91 ~ 100	2.5
40~49	72	68 ~ 77	3.2	26	24 ~ 28	3.7	49	46 ~ 51	2.7
50~59	60	56 ~ 65	3.6	18	16 ~ 20	4.6	29	27 ~ 31	3.3
60~69	41	38 ~ 45	4.2	12	11 ~ 14	6.5	18	17 ~ 20	4.1
70~	31	28 ~ 34	4.7	10	8 ~ 12	10.3	14	13 ~ 16	5.8

表Ⅳ-1-5 都道府県別、年間罹患数の推計値と95%信頼区間（インフルエンザ）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
北海道	35	28 ~ 42	10.3	12	8 ~ 15	16.2	41	31 ~ 51	12.5
青森	13	9 ~ 17	14.0	4	2 ~ 6	21.8	11	8 ~ 14	12.9
岩手	18	11 ~ 25	19.6	8	5 ~ 10	18.3	15	11 ~ 19	14.4
宮城	16	10 ~ 22	19.8	8	6 ~ 11	17.0	15	11 ~ 20	14.9
秋田	18	13 ~ 22	12.7	5	3 ~ 8	19.8	11	8 ~ 15	14.3
山形	12	10 ~ 13	7.2	4	3 ~ 5	11.0	11	6 ~ 15	21.9
福島	18	11 ~ 25	19.2	9	7 ~ 11	12.3	18	14 ~ 22	10.6
茨城	16	12 ~ 19	12.1	7	5 ~ 10	19.3	14	11 ~ 18	11.8
栃木	11	7 ~ 14	15.8	2	2 ~ 3	16.1	16	9 ~ 22	20.8
群馬	19	15 ~ 22	9.5	5	4 ~ 7	15.7	19	15 ~ 22	9.2
埼玉	53	40 ~ 67	12.5	19	15 ~ 22	8.6	51	39 ~ 63	11.6
千葉	28	23 ~ 34	9.4	11	8 ~ 13	10.9	34	27 ~ 40	10.1
東京	66	52 ~ 80	10.7	20	16 ~ 24	10.5	42	35 ~ 49	8.1
神奈川	46	35 ~ 57	12.6	18	13 ~ 22	13.3	38	32 ~ 43	7.5
新潟	24	17 ~ 31	14.6	8	4 ~ 12	23.7	20	13 ~ 27	17.7
富山	16	13 ~ 19	11.0	5	3 ~ 6	14.9	7	5 ~ 8	14.4
石川	13	9 ~ 16	14.2	4	3 ~ 6	19.7	10	7 ~ 13	15.0
福井	11	9 ~ 14	10.8	3	2 ~ 4	20.0	5	3 ~ 6	17.4
山梨	5	3 ~ 7	16.6	4	2 ~ 7	29.0	6	3 ~ 8	21.1
長野	25	16 ~ 33	16.9	6	4 ~ 8	19.0	16	11 ~ 20	15.0
岐阜	21	16 ~ 25	11.9	7	4 ~ 11	22.1	17	14 ~ 20	9.4
静岡	28	19 ~ 37	16.9	13	8 ~ 18	20.1	21	16 ~ 26	12.1
愛知	36	29 ~ 44	10.6	19	14 ~ 24	12.6	75	55 ~ 95	13.8
三重	17	14 ~ 20	9.5	9	6 ~ 11	14.8	15	8 ~ 22	24.1
滋賀	9	6 ~ 11	13.3	3	2 ~ 5	20.9	5	4 ~ 6	13.9
京都	25	19 ~ 32	13.1	11	8 ~ 13	12.3	20	14 ~ 25	14.6
大阪	39	32 ~ 47	9.5	48	36 ~ 59	12.3	39	33 ~ 44	7.7
兵庫	38	32 ~ 44	8.5	17	13 ~ 20	10.3	29	24 ~ 34	8.9
奈良	10	8 ~ 12	9.7	8	6 ~ 10	12.9	7	6 ~ 8	8.6
和歌山	14	10 ~ 18	15.3	8	5 ~ 11	19.4	8	6 ~ 10	13.9
鳥取	8	5 ~ 10	17.5	3	2 ~ 4	20.4	8	6 ~ 10	13.6
島根	8	5 ~ 11	17.6	4	3 ~ 6	17.7	5	3 ~ 7	17.7
岡山	20	13 ~ 27	17.7	7	5 ~ 9	14.8	15	10 ~ 19	15.6
広島	25	19 ~ 30	11.5	6	3 ~ 8	22.6	25	20 ~ 30	10.3
山口	15	12 ~ 19	12.1	4	4 ~ 5	10.7	12	9 ~ 15	12.4
徳島	13	9 ~ 17	15.2	9	5 ~ 12	19.8	8	4 ~ 11	24.0
香川	6	4 ~ 8	16.2	4	2 ~ 5	16.1	6	4 ~ 9	21.7
愛媛	19	15 ~ 23	10.8	7	6 ~ 9	11.4	15	11 ~ 19	13.5
高知	7	4 ~ 11	23.3	6	4 ~ 8	17.9	6	4 ~ 8	18.9
福岡	49	40 ~ 59	9.9	14	10 ~ 17	13.3	48	40 ~ 57	9.1
佐賀	8	6 ~ 10	11.1	3	2 ~ 4	14.1	8	6 ~ 10	13.2
長崎	14	10 ~ 19	17.0	3	2 ~ 5	25.8	18	13 ~ 23	14.1
熊本	17	11 ~ 22	16.3	3	2 ~ 5	23.9	21	15 ~ 26	13.9
大分	13	9 ~ 16	13.6	4	3 ~ 5	18.8	13	10 ~ 17	14.3
宮崎	10	8 ~ 12	10.5	3	2 ~ 5	15.5	9	7 ~ 12	12.7
鹿児島	18	11 ~ 25	19.8	14	8 ~ 19	20.9	17	11 ~ 23	18.1
沖縄	9	6 ~ 12	16.5	3	0 ~ 6	48.9	7	4 ~ 9	18.3
計	959	918 ~ 999	2.1	403	381 ~ 425	2.7	874	836 ~ 913	2.3

表Ⅳ－１－６ 仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味（インフルエンザ）

	仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数		比
	全医療施設の合計値	定点からの推定値	
2000年	911.1 万人	967.6 万人	1.06
2001年	373.2	403.5	1.08
2002年	719.3	874.8	1.22

IV-2. 小児科定点対象疾患の2002年推計

1) 基礎データと推計方法

表VI-2-1に、小児科定点対象疾患について、基礎データと推計方法の概要を示す。対象疾患は小児科定点対象12疾患とした。推計対象と基礎データはインフルエンザと同様である。年齢階級は、0～4歳、5～9歳、10～14歳、15歳以上の4区分とした。

表IV-2-2に、小児科定点における全医療施設数と定点数を示す。昨年度までに推計を実施した2000年・2001年の定点数についてもあわせて示した。全医療施設数は30,828施設であり、2002年の定点数は3,077施設(10.0%)であった。病院の小児科が731定点であり、診療所の小児科のみが1,226定点、内科・小児科が1,120定点であり、全医療施設数と比較すると、病院の小児科と診療所の小児科のみが多かった。

推計方法の基本(表IV-1-3)、推計方法、吟味方法ともにインフルエンザ定点のそれと同様である。異なる点は、推計の層を、都道府県と医療施設特性(病院の小児科、診療所の小児科のみ、診療所の内科・小児科の3層)としたことである。

2) 推計結果

小児科定点対象の12疾患について、2002年における全国年間罹患数、性別、年齢別、都道府県別の罹患数の推計値と95%信頼区間、および、全国年間罹患数推計値の吟味結果を示す。昨年度までに実施した2000年・2001年の推計結果についてもあわせて示した。

以下、各疾患ごとに結果の概要を示す。なお、全国年間罹患数(性別、年齢別を含む)を表IV-2-3～14、都道府県別を表IV-2-15～26、推計値の吟味結果を表IV-2-27に示した。

(1) 咽頭結膜熱

表IV-2-3に、咽頭結膜熱における全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は2000年が18.5万人(95%信頼区間:15.3～21.6万人)、2001年が21.5万人(同:19.2～23.8万人)、2002年が13.6万人(同:11.5～15.7万人)であり、2002年は2001年の約6割、2000年に比べても約7割と少なかった。推計値の標準誤差率は2000年が8.6%、2001年が5.5%、2002年が7.9%であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次においても、男が女よりやや大きかった。その標準誤差率は2000年が7.6%と10.1%、2001年が5.4%と5.7%、2002年が8.1%と7.9%であった。年齢別全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次においても0～4歳、次いで5～9歳が多く、両年齢区分をあわせると推計値全体の約9割を占めた。0～4歳、5～9歳の推計値の標準誤差率は2000年が6.7%と7.3%、2001年がともに5.6%、2002年は7.5%と11.1%であった。

表IV-2-15に、咽頭結膜熱における都道府県別の年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。都道府県別の年間罹患数はいずれの年次でも多くの都道府県で1万人未満であり、最も多かったのは2000年が大阪府、2001年が愛知県、2002年が東京都であった。推計値の標準誤差率はいずれの年次においてもほとんどの都道府県が20%以上であった。

表IV-2-27に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計(真値)に対して、定点からの推計値は多く、その比は2000年で1.09倍、2001年で1.13倍、2002年で1.11倍であった。

(2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

表Ⅳ-2-4に、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎における全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は2000年が139万人(95%信頼区間:128~150万人)、2001年が129万人(同:119~139万人)、2002年が136万人(同:125~146万人)であり、2002年は2001年・2000年とほぼ同程度であった。推計値の標準誤差率は2000年が4.0%、2001年が3.9%、2002年が3.8%であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次とも男が女よりもやや大きかった。その標準誤差率は2000年が4.0%と4.1%、2001年が3.8%と4.1%、2002年がともに3.8%であった。年齢別全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次においても5~9歳が最も多く、次いで0~4歳が多かった。この両年齢区分が全年齢のかなりの割合を占めた。それらの標準誤差率は2000年がともに4.0%、2001年が3.8%と3.9%、2002年はともに3.8%であった。

表Ⅳ-2-16に、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎における都道府県別の年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。都道府県別の年間罹患数は2000年が1~9万人、2001年が0~9万人、2002年が0~9万人であった。推計値の標準誤差率はいずれの年次においてもほとんどすべての都道府県で10%以上、多くの都道府県で20%以上であった。

表Ⅳ-3-27に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計(真値)に対して、定点からの推計値は多く、その比は2000年で1.17倍、2001年と2002年はともに1.20倍であった。

(3) 感染性胃腸炎

表Ⅳ-2-5に、感染性胃腸炎における全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は2000年が865万人(95%信頼区間:823~908万人)、2001年が868万人(同:823~913万人)、2002年が874万人(同:827~920万人)であり、2002年は2001年・2000年と比較してやや大きかった。推計値の標準誤差率は2000年が2.5%、2001年が2.6%、2002年が2.7%であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次とも男が女よりやや大きかった。その標準誤差率は2000年がともに2.5%、2001年が2.6%と2.7%、2002年はともに2.7%であった。年齢別全国年間罹患数の推計値はいずれの年次においても0~4歳が最も大きく、次いで5~9歳が大きかったが、15歳以上もかなり大きかった。年齢別全国年間罹患数推計値の標準誤差率は、いずれの年次・年齢区分においても5%未満であった。

表Ⅳ-2-17に、感染性胃腸炎における都道府県別の年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。都道府県別の年間罹患数は2000年が2~77万人、2001年が2~75万人、2002年が2~80万人であり、いずれの都道府県でも年次間で大きな変化はなかった。推計値の標準誤差率が10%以上の都道府県は2000年で39都道府県、2001年・2002年はともに41都道府県であった。

表Ⅳ-2-27に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計(真値)に対して、定点からの推計値は多く、その比は2000年で1.09倍、2001年・2002年はともに1.08倍であった。

(4) 水痘

表Ⅳ-2-6に、水痘における全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は2000年が237万人(95%信頼区間:228~246万人)、2001年が233万人(同:224~243

万人)、2002年が228万人(同:219～238万人)であり、年次間でほぼ等しかった。推計値の標準誤差率は2000年が2.0%、2001年が2.1%、2002年が2.0%であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次とも男が女よりやや大きかった。その標準誤差率は2000年がともに2.0%、2001年と2002年はともに2.1%であった。年齢別全国年間罹患数の推計値はいずれの年次においても0～4歳が最も大きく、次いで5～9歳が大きく、両年齢区分が全年齢のほとんどを占めた。それらの標準誤差率は2000年が2.1%と2.0%、2001年が2.2%と2.3%、2002年が2.2%と2.1%であった。

表Ⅳ-2-18に、水痘における都道府県別の年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。都道府県別の年間罹患数は2000年が1～15万人、2001年が1～16万人、2002年が1～16万人であり、いずれの都道府県でも年次間で大きな変化はなかった。推計値の標準誤差率は10%以上が2000年と2001年はともに38都道府県、2002年は36都道府県であった。

表Ⅳ-2-27に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計(真値)に対して、定点からの推計値は多く、その比は2000年で1.14倍、2001年で1.13倍、2002年は1.14倍であった。

(5)手足口病

表Ⅳ-2-7に、手足口病における全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は2000年が185万人(95%信頼区間:176～193万人)、2001年が107万人(同:101～113万人)、2002年が81万人(同:77～85万人)であり、2002年は2001年の約3/4、2000年の半数以下であった。推計値の標準誤差率は2000年が2.4%、2001年が2.8%、2002年が2.6%であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次とも男が女よりやや大きかった。その標準誤差率は2000年が2.4%と2.5%、2001年が2.8%と2.9%、2002年が2.6%と2.7%であった。年齢別全国年間罹患数の推計値はいずれの年次においても0～4歳が最も大きく、次いで5～9歳が大きく、両年齢区分が全年齢のほとんどを占めた。それらの標準誤差率は2000年が2.4%と2.8%、2001年が2.9%と3.1%、2002年が2.7%と3.0%であった。

表Ⅳ-2-19に、手足口病における都道府県別の年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。都道府県別の年間罹患数は2000年が0～14万人、2001年が0～11万人、2002年が0～6万人であった。推計値の標準誤差率は10%以上が2000年で43都道府県、2001年で45都道府県、2002年は40都道府県であった。

表Ⅳ-2-27に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計(真値)に対して、定点からの推計値は多く、その比は2000年で1.13倍、2001年で1.17倍、2002年は1.10倍であった。

(6)伝染性紅斑

表Ⅳ-2-8に、伝染性紅斑における全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は2000年が30.9万人(95%信頼区間:28.6～33.1万人)、2001年が59.4万人(同:56.3～62.5万人)、2002年が51.4万人(同:48.2～54.6万人)であり、2002年は2001年よりも少なかったが2000年と比べると約1.7倍であった。推計値の標準誤差率は2000年が3.7%、2001年が2.7%、2002年が3.2%であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次とも男が女よりやや小さかった。その標準誤差率は2000年が3.7%と4.0%、2001年がともに2.7%、2002年が3.3

%と3.2%であった。年齢別全国年間罹患数の推計値はいずれの年次においても5～9歳が最も大きく、次いで0～4歳が大きく、両年齢区分で全年齢のほとんどを占めた。それらの標準誤差率は2000年が3.6%と4.1%、2001年が2.7%と2.9%、2002年が3.2%と3.4%であった。

表Ⅳ-2-20に、伝染性紅斑における都道府県別の年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。都道府県別の年間罹患数は2000年では関東地方が大きく、2001年では関東地方、愛知県、大阪府と福岡県で大きかった。2002年では北海道、福島など9都道府県で2万人以上であった。推計値の標準誤差率は10%以上が2000年で46都道府県、2001年で43都道府県、2002年は45都道府県であった。

表Ⅳ-2-27に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計(真値)に対して、定点からの推計値は多く、その比は2000年で1.09倍、2001年で1.10倍、2002年で1.15倍であった。

(7)突発性発疹

表Ⅳ-2-9に、突発性発疹における全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は2000年が108万人(95%信頼区間:103～114万人)、2001年が106万人(同:101～111万人)、2002年が100万人(同:95～104万人)であり、年次間であまり変わらないものの、2002年はその前よりも若干の減少が見られた。推計値の標準誤差率は2000年が2.4%、2001年・2002年がともに2.5%であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次とも男が女よりやや大きかった。その標準誤差率は2000年・2001年ともにすべて2.5%、2002年は2.6%と2.5%であった。年齢別全国年間罹患数の推計値はいずれの年次においても0～4歳が全年齢のほとんどを占めた。その標準誤差率は2000年が2.4%、2001年・2002年がともに2.5%であった。

表Ⅳ-2-21に、突発性発疹における都道府県別の年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。都道府県別の年間罹患数はいずれの年次とも0～8万人であり、どの都道府県においても年次間で大きな変化は見られなかった。推計値の標準誤差率は10%以上がいずれの年次においても40都道府県であった。

表Ⅳ-2-27に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計(真値)に対して、定点からの推計値は多く、その比は2000年・2001年・2002年いずれも1.12倍であった。

(8)百日咳

表Ⅳ-2-10に、百日咳における全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は2000年が2.8万人(95%信頼区間:2.6～3.1万人)、2001年が1.5万人(同:1.3～1.7万人)、2002年が1.2万人(同:1.0～1.4万人)であり、2002年は2000年の半分以下であった。推計値の標準誤差率は2000年が5.0%、2001年が7.4%、2002年が8.6%であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次とも男が女よりやや大きいか同程度であった。その標準誤差率は2000年がともに5.6%、2001年が7.4%と8.7%、2002年が9.6%と9.5%であった。年齢別全国年間罹患数の推計値はいずれの年次においても0～4歳が最も大きく、次いで5～9歳であり、両年齢区分が全年齢のかなりを占めた。その標準誤差率は2000年が5.0%と8.6%、2001年が7.3%と14.6%、2002年が7.3%と16.2%であった。

表Ⅳ-2-22に、百日咳における都道府県別の年間罹患数の推計値と95%信頼区間を示す。都

道府県別の年間罹患数はいずれの年次ともすべて 0.3 万人以下であった。推計値の標準誤差率は両年次ともすべて 10 % 以上、多くの都道府県で 20 % 以上であった。

表Ⅳ-2-27 に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計（真値）に対して、定点からの推計値は多く、その比は 2000 年で 1.24 倍、2001 年で 1.20 倍、2002 年で 1.33 倍であった。

(9) 風疹

表Ⅳ-2-11 に、風疹における全国年間罹患数の推計値と 95 % 信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は 2000 年が 3.5 万人（95 % 信頼区間：3.0 ～ 4.1 万人）、2001 年が 2.9 万人（同：2.6 ～ 3.3 万人）、2002 年が 3.3 万人（同：2.3 ～ 4.3 万人）であり、2002 年は 2001 年・2000 年と比べてあまり変化はなかった。推計値の標準誤差率は 2000 年が 7.8 %、2001 年が 6.6 %、2002 年が 15.2 % であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、2000 年・2001 年ではともに男が女よりやや大きかったが、2002 年では女が男よりやや大きかった。その標準誤差率は 2000 年が 8.6 % と 7.7 %、2001 年が 6.7 % と 7.5 %、2002 年が 13.7 % と 17.0 % であった。年齢別全国年間罹患数の推計値はいずれの年次においても 0 ～ 4 歳が最も大きいが、それ以降の年齢もかなり大きかった。年齢別全国年間罹患数の標準誤差率は 2000 年が 7.7 ～ 12.0 %、2001 年が 7.9 ～ 12.6 %、2002 年が 7.3 % ～ 41.1 % であった。

表Ⅳ-2-23 に、風疹における都道府県別の年間罹患数の推計値と 95 % 信頼区間を示す。都道府県別の年間罹患数は 0.3 万人以上が 2000 年で千葉県、東京都、大阪府と宮崎県であり、2001 年で東京都と大阪府、2002 年では福岡県であった。推計値の標準誤差率は両年次ともすべて 10 % 以上、ほとんどの都道府県で 20 % 以上であった。

表Ⅳ-2-27 に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計（真値）に対して、定点からの推計値は同程度または多く、その比は 2000 年で 1.11 倍、2001 年で 1.02 倍、2002 年では 1.00 倍であった。

(10) ヘルパンギーナ

表Ⅳ-1-12 に、ヘルパンギーナにおける全国年間罹患数の推計値と 95 % 信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は 2000 年が 132 万人（95 % 信頼区間：124 ～ 140 万人）、2001 年が 127 万人（同：120 ～ 135 万人）、2002 年が 100 万人（同：94 ～ 106 万人）であり、2002 年は 2001 年、2000 年に比べて 8 割程度と小さかった。推計値の標準誤差率は 2000 年・2001 年はともに 3.0 %、2002 年は 3.2 % であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次とも男が女よりやや大きかった。その標準誤差率は 2000 年・2001 年はともに 3.0 % と 3.1 %、2002 年は 3.0 % と 3.4 % であった。年齢別全国年間罹患数の推計値はいずれの年次においても 0 ～ 4 歳が最も大きく、次いで 5 ～ 9 歳が大きく、両年齢区分が全年齢のほとんどを占めた。それらの標準誤差率は 2000 年・2001 年はともに 2.9 % と 3.9 %、2002 年は 3.2 % と 3.7 % であった。

表Ⅳ-2-22 に、ヘルパンギーナにおける都道府県別の年間罹患数の推計値と 95 % 信頼区間を示す。都道府県別の年間罹患数は 5 万人以上が 2000 年で関東地方、福島県、長野県、愛知県と大阪府であり、2001 年で関東地方、福島県、愛知県、京都府、大阪府と兵庫県であった。2002 年では関東地方と愛知県と大阪府であった。推計値の標準誤差率は 2000 年・2001 年ではともに 44 都道府県で 10 % 以上、2002 年は 46 都道府県で 10 % 以上であった。

表Ⅳ-2-27 に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹

患者数の全医療施設合計（真値）に対して、定点からの推計値は多く、その比は 2000 年で 1.13 倍、2001 年・2002 年は 1.12 倍であった。

(11) 麻疹

表Ⅳ－２－１３に、麻疹における全国年間罹患数の推計値と 95 % 信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は 2000 年が 19.7 万人（95 % 信頼区間：18.1～21.3 万人）、2001 年が 28.6 万人（同：26.3～30.8 万人）、2002 年が 10.5 万人（同：9.6～11.4 万人）であり、2002 年は 2001 年・2000 年にくらべて半分程度あるいは半分以下とかなり小さかった。推計値の標準誤差率は 2000 年が 4.1 %、2001 年が 4.0 %、2002 年が 4.6 %であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次とも男が女よりやや大きかった。その標準誤差率は 2000 年が 4.2 %と 4.3 %、2001 年が 4.1 %と 4.0 %、2002 年が 4.6 %と 4.8 %であった。年齢別全国年間罹患数の推計値はいずれの年次においても 0～4 歳が最も大きかったが、それ以降の年齢もかなり大きかった。年齢別全国年間罹患数の標準誤差率は 2000 年が 4.4～10.0 %、2001 年が 4.4～6.5 %、2002 年が 5.2 %～7.4 %であった。

表Ⅳ－２－２５に、麻疹における都道府県別の年間罹患数の推計値と 95 % 信頼区間を示す。都道府県別の年間罹患数は 1 万人以上が 2000 年で 4 都道府県、2001 年で 12 都道府県、2002 年で 2 都道府県であった。推計値の標準誤差率は 10 % 以上が 2000 年と 2002 年はともに 46 都道府県、2001 年ですべての都道府県であった。

表Ⅳ－２－２７に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計（真値）に対して、定点からの推計値は多く、その比は 2000 年で 1.25 倍、2001 年で 1.28 倍、2002 年で 1.18 倍であった。

(12) 流行性耳下腺炎

表Ⅳ－２－１４に、流行性耳下腺炎における全国年間罹患数の推計値と 95 % 信頼区間を示す。全国年間罹患数の推計値は 2000 年が 117 万人（95 % 信頼区間：111～124 万人）、2001 年が 226 万人（同：215～236 万人）、2002 年が 155 万人（同：147～163 万人）であり、2002 年は 2001 年にくらべると 7 割程度と小さく、2000 年にくらべると約 1.3 倍と大きかった。推計値の標準誤差率は 2000 年が 2.9 %、2001 年が 2.4 %、2002 年が 2.6 %であった。性別の全国年間罹患数の推計値は、いずれの年次とも男が女よりやや大きかった。その標準誤差率は 2000 年が 2.9 %と 3.0 %、2001 年がともに 2.4 %、2002 年が 2.6 %と 2.7 %であった。年齢別全国年間罹患数の推計値はいずれの年次においても 0～4 歳と 5～9 歳が大きく、両年齢区分が全年齢のほとんどを占めた。それらの標準誤差率は 2000 年が 3.2 %と 3.0 %、2001 年が 2.8 %と 2.4 %、2002 年が 2.6 %と 2.7 %であった。

表Ⅳ－２－２６に、流行性耳下腺炎における都道府県別の年間罹患数の推計値と 95 % 信頼区間を示す。都道府県別の年間罹患数は 10 万人以上が 2000 年では 2 都道府県、2001 年では 7 都道府県であったが、2002 年には東京都の 9 万人が最高であった。推計値の標準誤差率は 10 % 以上が 2000 年で 42 都道府県、2001 年で 40 都道府県、2002 年では 41 都道府県であった。

表Ⅳ－２－２７に、仮想的年間罹患数に基づく全国年間罹患数推計値の吟味を示す。仮想的年間罹患数の全医療施設合計（真値）に対して、定点からの推計値は多く、その比はいずれの年次とも 1.12 倍であった。

以上、小児科定点対象の 12 疾患について、2000 年、2001 年、2002 年の罹患数推計値、95 % 信頼

区間と吟味結果を示した。全国年間罹患数の推計値は、2000年から2002年では疾患により上昇・低下・不変と様々な傾向を示した。性と年齢による違いの傾向はいずれの年次においても比較的類似していた。これらの標準誤差率は、推計値が小さいものを除くと、全体、性別と年齢別のいずれにおいてもほとんどが5%程度あるいはそれ未満であり、ある程度の推計精度は確保されているとみなすことができた。一方、都道府県別にみると、推計値の標準誤差率はかなり大きく、疾患によってはきわめて大きかった。都道府県別には推計精度が高くないとみなされた。吟味結果からは、いずれの年次においても推計値が過大となっている可能性が示唆され、その程度は1.00～1.33倍と試算された。

表Ⅳ-2-1 基礎データと推計方法の概要（小児科定点対象疾患）

対象疾患	小児科定点対象12疾患		
推計対象	全国年間罹患数、および、性、年齢、都道府県と週の各々別の罹患数の推計値と95%信頼区間		
基礎データ	定点に関する情報：	2002年の感染症発生動向調査から得た、 定点指定・報告状況、都道府県、医療施設特性 および、疾患、週、性、年齢階級別の報告数	
	全医療施設に関する情報：	平成11年医療施設調査から得た、 都道府県、医療施設特性	
推計方法	層ごとに定点の無作為選定を前提として、多項超幾何分布に従うことを 利用（詳細は表Ⅳ-1-3を参照）。 推計の層： 都道府県、医療施設特性 (病院の小児科、診療所の小児科のみ、診療所の内科・小児科)		

表Ⅳ-2-2 全医療施設数と定点数（小児科定点）

	全医療施設	定点		
		2000年	2001年	2002年
病院 小児科	3,575	734 (20.5)	737 (20.6)	731 (20.4)
診療所 小児科のみ	3,411	1,145 (33.6)	1,236 (36.2)	1,226 (35.9)
診療所 内科・小児科	23,842	1,132 (4.7)	1,079 (4.5)	1,120 (4.7)
計	30,828	3,011 (9.8)	3,052 (9.9)	3,077 (10.0)

() 内は全医療施設に対する割合 (%)

医療施設数は平成11年医療施設調査に基づく小児科を有する施設数とした。
 定点数は各年次の第1～52週の少なくとも1週以上で定点指定された医療施設数とし、
 診療所では同一施設内で複数指定されても1施設と数えた。

表IV-2-3 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（咽頭結膜熱）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	18.5	15.3 ~ 21.6	8.6	21.5	19.2 ~ 23.8	5.5	13.6	11.5 ~ 15.7	7.9
男	9.7	8.3 ~ 11.2	7.6	11.5	10.3 ~ 12.7	5.4	7.4	6.2 ~ 8.6	8.1
女	8.7	7.0 ~ 10.4	10.1	10.0	8.9 ~ 11.1	5.7	6.2	5.2 ~ 7.1	7.9
0~4歳	10.5	9.1 ~ 11.8	6.7	12.6	11.2 ~ 13.9	5.6	8.0	6.8 ~ 9.2	7.5
5~9	5.7	4.9 ~ 6.6	7.3	6.8	6.1 ~ 7.6	5.6	4.2	3.3 ~ 5.1	11.1
10~14	0.7	0.5 ~ 0.9	15.8	0.7	0.6 ~ 0.9	11.0	0.7	0.3 ~ 1.0	26.6
15~	1.6	0.2 ~ 3.0	46.1	1.3	0.6 ~ 2.0	27.4	0.8	0.4 ~ 1.1	21.4

表IV-2-4 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（A群溶血性レンサ球菌咽頭炎）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	139	128 ~ 150	4.0	129	119 ~ 139	3.9	136	125 ~ 146	3.8
男	74	69 ~ 80	4.0	69	64 ~ 74	3.8	73	68 ~ 79	3.8
女	64	59 ~ 70	4.1	60	55 ~ 65	4.1	62	58 ~ 67	3.8
0~4歳	44	41 ~ 48	4.0	39	36 ~ 42	3.8	41	38 ~ 44	3.8
5~9	73	67 ~ 79	4.0	70	65 ~ 75	3.9	73	67 ~ 78	3.8
10~14	10	9 ~ 11	5.2	10	9 ~ 11	5.1	11	10 ~ 12	4.8
15~	12	8 ~ 15	13.9	10	8 ~ 12	10.6	11	9 ~ 13	10.9

表IV-2-5 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（感染性胃腸炎）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	865	823 ~ 908	2.5	868	823 ~ 913	2.6	874	827 ~ 920	2.7
男	450	428 ~ 472	2.5	448	425 ~ 471	2.6	451	427 ~ 474	2.7
女	416	395 ~ 436	2.5	420	398 ~ 442	2.7	423	401 ~ 446	2.7
0~4歳	414	391 ~ 437	2.8	380	358 ~ 402	2.9	421	396 ~ 445	3.0
5~9	230	217 ~ 244	3.0	247	233 ~ 261	2.8	227	213 ~ 240	3.1
10~14	73	69 ~ 77	2.9	80	75 ~ 85	3.1	74	70 ~ 79	3.1
15~	148	138 ~ 159	3.6	161	146 ~ 175	4.6	152	139 ~ 166	4.6

表IV-2-6 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（水痘）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	237	228 ~ 246	2.0	233	224 ~ 243	2.1	228	219 ~ 238	2.0
男	124	119 ~ 129	2.0	121	116 ~ 126	2.1	119	114 ~ 124	2.1
女	113	108 ~ 118	2.0	112	108 ~ 117	2.1	110	105 ~ 114	2.1
0~4歳	182	174 ~ 189	2.1	178	170 ~ 186	2.2	176	169 ~ 184	2.2
5~9	49	47 ~ 50	2.0	49	47 ~ 51	2.3	46	44 ~ 48	2.1
10~14	4	3 ~ 4	3.1	4	3 ~ 4	3.1	3	3 ~ 4	3.0
15~	3	3 ~ 3	4.3	3	3 ~ 3	4.0	3	2 ~ 3	5.7

表IV-2-7 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（手足口病）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	185	176 ~ 193	2.4	107	101 ~ 113	2.8	81	77 ~ 85	2.6
男	100	96 ~ 105	2.4	58	55 ~ 61	2.8	44	41 ~ 46	2.6
女	84	80 ~ 88	2.5	49	46 ~ 52	2.9	37	35 ~ 39	2.7
0~4歳	139	133 ~ 146	2.4	84	79 ~ 88	2.9	64	61 ~ 67	2.7
5~9	39	37 ~ 41	2.8	20	19 ~ 22	3.1	15	14 ~ 15	3.0
10~14	3	3 ~ 3	3.9	1	1 ~ 2	5.5	1	1 ~ 1	5.2
15~	3	3 ~ 3	5.0	1	1 ~ 1	7.0	1	1 ~ 1	5.7

表IV-2-8 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（伝染性紅斑）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	30.9	28.6 ~ 33.1	3.7	59.4	56.3 ~ 62.5	2.7	51.4	48.2 ~ 54.6	3.2
男	15.2	14.1 ~ 16.3	3.7	29.1	27.6 ~ 30.7	2.7	25.4	23.7 ~ 27.0	3.3
女	15.7	14.4 ~ 16.9	4.0	30.3	28.7 ~ 31.9	2.7	26.1	24.4 ~ 27.7	3.2
0~4歳	12.4	11.5 ~ 13.3	3.6	21.6	20.4 ~ 22.7	2.7	19.3	18.1 ~ 20.5	3.2
5~9	15.5	14.2 ~ 16.7	4.1	31.7	29.9 ~ 33.5	2.9	27.0	25.2 ~ 28.8	3.4
10~14	1.9	1.7 ~ 2.1	5.1	4.0	3.7 ~ 4.3	3.8	3.4	3.1 ~ 3.8	4.6
15~	1.1	0.9 ~ 1.2	8.3	2.1	1.9 ~ 2.4	6.2	1.7	1.5 ~ 1.9	6.4

表IV-2-9 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（突発性発疹）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	108	103 ~ 114	2.4	106	101 ~ 111	2.5	100	95 ~ 104	2.5
男	56	53 ~ 59	2.5	54	52 ~ 57	2.5	51	48 ~ 53	2.6
女	52	50 ~ 55	2.5	52	50 ~ 55	2.5	49	46 ~ 51	2.5
0~4歳	108	103 ~ 113	2.4	106	101 ~ 111	2.5	99	94 ~ 104	2.5
5~9	0	0 ~ 0	8.4	0	0 ~ 0	8.6	0	0 ~ 0	8.9
10~14	0	0 ~ 0	21.6	0	0 ~ 0	19.5	0	0 ~ 0	19.5
15~	0	0 ~ 0	26.5	0	0 ~ 0	28.4	0	0 ~ 0	28.6

表IV-2-10 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（百日咳）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	2.8	2.6 ~ 3.1	5.0	1.5	1.3 ~ 1.7	7.4	1.2	1.0 ~ 1.4	8.6
男	1.4	1.2 ~ 1.5	5.6	0.7	0.6 ~ 0.8	7.4	0.6	0.5 ~ 0.7	9.6
女	1.5	1.3 ~ 1.6	5.6	0.8	0.7 ~ 0.9	8.7	0.6	0.5 ~ 0.7	9.5
0~4歳	2.3	2.1 ~ 2.6	5.0	1.2	1.0 ~ 1.4	7.3	0.9	0.7 ~ 1.0	7.3
5~9	0.3	0.3 ~ 0.4	8.6	0.2	0.1 ~ 0.2	14.6	0.2	0.1 ~ 0.2	16.2
10~14	0.1	0.1 ~ 0.1	23.3	0.0	0.0 ~ 0.1	29.1	0.1	0.0 ~ 0.1	23.2
15~	0.1	0.1 ~ 0.1	22.1	0.1	0.0 ~ 0.1	32.2	0.1	0.0 ~ 0.2	41.1

表IV-2-11 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（風疹）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	3.5	3.0 ~ 4.1	7.8	2.9	2.6 ~ 3.3	6.6	3.3	2.3 ~ 4.3	15.2
男	1.9	1.5 ~ 2.2	8.6	1.5	1.3 ~ 1.7	6.7	1.6	1.2 ~ 2.1	13.7
女	1.7	1.4 ~ 1.9	7.7	1.4	1.2 ~ 1.6	7.5	1.7	1.1 ~ 2.2	17.0
0~4歳	1.8	1.5 ~ 2.1	7.7	1.5	1.2 ~ 1.7	8.6	1.6	1.1 ~ 2.0	14.1
5~9	0.9	0.7 ~ 1.2	13.4	0.7	0.6 ~ 0.8	7.9	1.1	0.7 ~ 1.5	19.6
10~14	0.3	0.3 ~ 0.4	10.0	0.3	0.2 ~ 0.3	10.3	0.3	0.2 ~ 0.5	22.9
15~	0.5	0.4 ~ 0.6	12.0	0.5	0.4 ~ 0.6	12.6	0.3	0.3 ~ 0.4	11.6

表Ⅳ-2-12 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（ヘルパンギーナ）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	132	124 ~ 140	3.0	127	120 ~ 135	3.0	100	94 ~ 106	3.2
男	69	65 ~ 73	3.0	66	62 ~ 70	3.0	52	49 ~ 55	3.0
女	63	59 ~ 67	3.1	61	57 ~ 65	3.1	48	45 ~ 51	3.4
0~4歳	102	96 ~ 108	2.9	97	92 ~ 103	2.9	80	75 ~ 85	3.2
5~9	25	23 ~ 27	3.9	26	24 ~ 27	3.9	17	16 ~ 18	3.7
10~14	2	2 ~ 2	8.5	2	2 ~ 2	7.2	1	1 ~ 2	6.8
15~	3	1 ~ 4	24.0	2	1 ~ 4	27.4	2	1 ~ 3	32.6

表Ⅳ-2-13 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（麻疹）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	19.7	18.1 ~ 21.3	4.1	28.6	26.3 ~ 30.8	4.0	10.5	9.6 ~ 11.4	4.6
男	10.7	9.8 ~ 11.6	4.2	15.3	14.1 ~ 16.5	4.1	5.6	5.1 ~ 6.1	4.6
女	8.9	8.2 ~ 9.7	4.3	13.3	12.2 ~ 14.3	4.0	4.9	4.4 ~ 5.3	4.8
0~4歳	12.0	11.0 ~ 13.0	4.4	16.8	15.4 ~ 18.3	4.4	5.8	5.2 ~ 6.4	5.2
5~9	4.2	3.8 ~ 4.7	5.0	6.3	5.7 ~ 6.8	4.6	2.3	2.1 ~ 2.5	5.4
10~14	2.1	1.8 ~ 2.3	6.0	3.3	3.0 ~ 3.7	5.0	1.5	1.3 ~ 1.7	7.0
15~	1.4	1.1 ~ 1.6	10.0	2.1	1.9 ~ 2.4	6.5	0.9	0.8 ~ 1.0	7.4

表Ⅳ-2-14 全国年間罹患数の推計値と95%信頼区間（流行性耳下腺炎）

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
総数	117	111 ~ 124	2.9	226	215 ~ 236	2.4	155	147 ~ 163	2.6
男	63	59 ~ 67	2.9	121	115 ~ 127	2.4	82	78 ~ 87	2.6
女	54	51 ~ 58	3.0	105	100 ~ 110	2.4	73	69 ~ 77	2.7
0~4歳	52	49 ~ 55	3.2	103	97 ~ 108	2.8	69	66 ~ 73	2.6
5~9	55	52 ~ 58	3.0	103	98 ~ 107	2.4	71	67 ~ 75	2.9
10~14	6	6 ~ 7	3.3	12	12 ~ 13	2.8	9	9 ~ 10	3.9
15~	4	4 ~ 4	4.2	8	8 ~ 9	3.3	6	5 ~ 6	3.6

表Ⅳ-2-15 都道府県別、年間罹患数の推計値と95%信頼区間(咽頭結膜熱)

	2000年			2001年			2002年		
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)
北海道	0.2	0.1 ~ 0.4	23.8	0.7	0.4 ~ 1.0	20.0	1.2	0.0 ~ 2.5	57.0
青森	0.1	0.0 ~ 0.3	68.7	0.2	0.0 ~ 0.3	50.8	0.5	0.0 ~ 1.5	85.9
岩手	0.0	0.0 ~ 0.0	36.2	0.0	0.0 ~ 0.0	29.1	0.0	0.0 ~ 0.1	33.9
宮城	0.2	0.1 ~ 0.3	23.2	0.4	0.2 ~ 0.5	26.4	0.1	0.1 ~ 0.2	29.5
秋田	0.1	0.0 ~ 0.1	33.4	0.1	0.0 ~ 0.1	38.7	0.2	0.1 ~ 0.4	29.6
山形	0.1	0.0 ~ 0.1	23.5	0.1	0.0 ~ 0.3	57.7	0.0	0.0 ~ 0.1	38.4
福島	0.2	0.0 ~ 0.3	38.0	0.3	0.1 ~ 0.5	41.5	0.1	0.0 ~ 0.1	16.2
茨城	0.1	0.0 ~ 0.1	20.5	0.2	0.1 ~ 0.3	21.6	0.1	0.0 ~ 0.1	20.0
栃木	0.2	0.0 ~ 0.3	41.2	0.4	0.2 ~ 0.7	29.7	0.2	0.1 ~ 0.4	31.6
群馬	0.1	0.0 ~ 0.2	29.1	0.5	0.3 ~ 0.7	19.7	0.2	0.0 ~ 0.4	40.9
埼玉	1.0	0.6 ~ 1.4	21.9	1.5	1.1 ~ 2.0	15.4	0.9	0.6 ~ 1.1	13.6
千葉	0.5	0.3 ~ 0.8	25.2	1.1	0.7 ~ 1.4	16.0	0.4	0.2 ~ 0.6	27.0
東京	1.0	0.7 ~ 1.4	16.9	1.5	0.8 ~ 2.2	23.8	1.4	0.6 ~ 2.1	27.4
神奈川	0.7	0.4 ~ 1.1	22.4	1.8	1.1 ~ 2.5	19.9	1.0	0.6 ~ 1.4	21.3
新潟	0.4	0.0 ~ 0.7	57.1	0.6	0.2 ~ 1.1	34.7	0.3	0.1 ~ 0.4	27.0
富山	0.1	0.0 ~ 0.2	32.3	0.1	0.0 ~ 0.1	34.6	0.1	0.0 ~ 0.1	30.1
石川	0.2	0.1 ~ 0.2	25.9	0.1	0.0 ~ 0.3	40.9	0.1	0.0 ~ 0.2	43.7
福井	0.1	0.0 ~ 0.2	32.6	0.2	0.1 ~ 0.3	33.6	0.4	0.1 ~ 0.7	37.7
山梨	0.1	0.0 ~ 0.2	70.9	0.1	0.0 ~ 0.1	34.5	0.0	0.0 ~ 0.0	38.3
長野	0.3	0.2 ~ 0.5	25.8	0.5	0.2 ~ 0.9	32.1	0.1	0.0 ~ 0.2	34.0
岐阜	0.2	0.1 ~ 0.3	23.5	0.5	0.2 ~ 0.7	23.9	0.2	0.1 ~ 0.3	27.7
静岡	0.7	0.3 ~ 1.1	28.8	0.5	0.3 ~ 0.7	16.7	0.2	0.1 ~ 0.3	25.3
愛知	0.6	0.3 ~ 0.8	21.3	2.2	1.5 ~ 2.8	15.3	0.5	0.3 ~ 0.6	18.3
三重	0.2	0.1 ~ 0.2	23.8	0.6	0.0 ~ 1.2	56.3	0.2	0.0 ~ 0.3	39.5
滋賀	0.3	0.0 ~ 0.5	45.4	0.4	0.1 ~ 0.8	42.2	0.3	0.0 ~ 0.6	45.3
京都	0.2	0.1 ~ 0.3	19.2	0.4	0.2 ~ 0.6	26.3	0.3	0.0 ~ 0.5	44.7
大阪	2.6	0.3 ~ 5.0	46.0	1.2	0.3 ~ 2.1	39.2	0.9	0.5 ~ 1.3	22.0
兵庫	1.4	0.7 ~ 2.1	25.9	0.5	0.3 ~ 0.8	25.3	0.6	0.2 ~ 1.1	38.4
奈良	0.1	0.0 ~ 0.1	37.5	0.1	0.0 ~ 0.2	42.1	0.0	0.0 ~ 0.0	38.8
和歌山	1.2	0.1 ~ 2.2	45.3	0.1	0.0 ~ 0.2	32.9	0.0	0.0 ~ 0.1	44.0
鳥取	0.4	0.0 ~ 1.0	66.7	0.4	0.0 ~ 0.9	67.4	0.2	0.0 ~ 0.4	46.2
島根	0.1	0.0 ~ 0.3	54.7	0.2	0.0 ~ 0.4	47.6	0.1	0.0 ~ 0.2	36.9
岡山	1.0	0.4 ~ 1.5	28.6	0.4	0.1 ~ 0.6	34.0	0.1	0.0 ~ 0.1	38.2
広島	0.9	0.3 ~ 1.5	33.9	1.1	0.2 ~ 1.9	42.6	0.5	0.3 ~ 0.7	24.1
山口	0.1	0.1 ~ 0.2	17.0	0.2	0.1 ~ 0.3	19.8	0.1	0.1 ~ 0.2	21.8
徳島	0.6	0.0 ~ 1.1	49.6	0.1	0.0 ~ 0.1	21.7	0.1	0.0 ~ 0.1	35.1
香川	0.2	0.1 ~ 0.3	28.1	0.1	0.0 ~ 0.1	25.8	0.0	0.0 ~ 0.0	24.4
愛媛	0.3	0.1 ~ 0.4	28.4	0.2	0.1 ~ 0.3	28.5	0.2	0.0 ~ 0.4	44.3
高知	0.1	0.0 ~ 0.2	36.3	0.1	0.1 ~ 0.2	23.2	0.1	0.0 ~ 0.2	42.8
福岡	0.4	0.2 ~ 0.7	27.3	0.6	0.3 ~ 0.9	21.8	0.5	0.3 ~ 0.7	22.0
佐賀	0.0	0.0 ~ 0.0	31.7	0.3	0.1 ~ 0.4	32.3	0.1	0.0 ~ 0.2	36.6
長崎	0.1	0.0 ~ 0.2	42.2	0.1	0.1 ~ 0.2	24.5	0.0	0.0 ~ 0.1	34.0
熊本	0.3	0.2 ~ 0.4	20.1	0.3	0.2 ~ 0.5	24.3	0.4	0.2 ~ 0.6	24.8
大分	0.4	0.2 ~ 0.6	27.2	0.3	0.0 ~ 0.5	53.3	0.1	0.0 ~ 0.2	48.7
宮崎	0.2	0.1 ~ 0.4	29.1	0.2	0.1 ~ 0.2	28.9	0.1	0.1 ~ 0.2	19.8
鹿児島	0.1	0.0 ~ 0.1	33.1	0.2	0.1 ~ 0.3	23.0	0.2	0.0 ~ 0.4	58.9
沖縄	0.1	0.0 ~ 0.2	38.0	0.0	0.0 ~ 0.1	44.6	0.0	0.0 ~ 0.1	43.0
計	18.5	15.3 ~ 21.6	8.6	21.5	19.2 ~ 23.8	5.5	13.6	11.5 ~ 15.7	7.9

表IV-2-16 都道府県別、年間罹患数の推計値と95%信頼区間 (A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)

	2000年				2001年				2002年			
	推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)		推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)		推計値 (万人)	95%信頼区間 (万人)	標準誤差率 (%)	
北海道	5	3 ~ 6	15.2		5	4 ~ 7	12.6		7	6 ~ 9	11.5	
青森	2	0 ~ 3	39.8		2	1 ~ 3	35.6		2	1 ~ 3	32.9	
岩手	1	0 ~ 1	23.2		1	0 ~ 1	26.7		1	0 ~ 1	41.7	
宮城	3	2 ~ 5	21.3		3	2 ~ 4	19.4		3	1 ~ 4	22.5	
秋田	1	1 ~ 2	24.5		1	1 ~ 2	25.0		1	0 ~ 2	31.7	
山形	2	1 ~ 2	15.6		2	1 ~ 4	21.9		2	1 ~ 4	28.1	
福島	3	1 ~ 4	26.8		3	1 ~ 4	24.5		3	2 ~ 4	21.6	
茨城	3	1 ~ 5	31.5		3	1 ~ 6	40.4		2	1 ~ 4	31.5	
栃木	4	2 ~ 5	21.6		4	1 ~ 6	33.0		3	2 ~ 4	17.0	
群馬	4	2 ~ 6	22.6		4	2 ~ 5	24.8		3	2 ~ 4	19.4	
埼玉	9	7 ~ 10	10.2		9	7 ~ 10	10.4		7	6 ~ 9	9.4	
千葉	8	6 ~ 11	12.2		7	5 ~ 8	10.9		8	6 ~ 10	12.7	
東京	7	5 ~ 9	15.2		6	4 ~ 8	15.1		8	6 ~ 10	12.8	
神奈川	7	6 ~ 9	12.5		7	5 ~ 8	12.9		7	5 ~ 8	12.1	
新潟	5	2 ~ 8	27.9		5	3 ~ 8	22.9		4	2 ~ 5	27.9	
富山	1	0 ~ 1	26.3		1	1 ~ 2	25.8		2	1 ~ 2	16.6	
石川	1	1 ~ 2	27.3		1	0 ~ 2	27.5		1	1 ~ 1	18.2	
福井	2	1 ~ 3	30.9		2	1 ~ 2	28.8		2	1 ~ 3	29.8	
山梨	1	0 ~ 1	23.0		1	0 ~ 1	20.5		1	0 ~ 1	22.1	
長野	3	2 ~ 5	25.0		4	2 ~ 6	26.6		5	2 ~ 7	30.8	
岐阜	2	1 ~ 4	26.4		2	1 ~ 3	24.8		2	1 ~ 2	23.6	
静岡	3	2 ~ 4	16.7		2	2 ~ 3	14.1		3	2 ~ 3	12.3	
愛知	9	5 ~ 12	20.4		7	5 ~ 10	15.8		7	5 ~ 9	16.3	
三重	3	1 ~ 5	38.0		2	1 ~ 4	32.2		4	0 ~ 8	47.8	
滋賀	2	0 ~ 4	42.1		1	0 ~ 2	38.2		1	0 ~ 1	31.3	
京都	3	1 ~ 6	36.0		4	1 ~ 6	30.8		4	2 ~ 7	28.8	
大阪	8	5 ~ 11	18.3		7	4 ~ 11	25.2		9	5 ~ 13	21.4	
兵庫	4	3 ~ 6	17.6		4	2 ~ 6	19.9		4	3 ~ 6	18.7	
奈良	1	0 ~ 2	36.4		1	0 ~ 2	33.0		1	0 ~ 2	34.2	
和歌山	1	0 ~ 3	50.4		1	0 ~ 2	38.4		1	0 ~ 2	52.4	
鳥取	5	1 ~ 9	43.9		3	0 ~ 6	44.4		1	0 ~ 2	41.3	
島根	1	0 ~ 1	33.9		0	0 ~ 1	34.6		0	0 ~ 1	17.6	
岡山	2	1 ~ 2	16.0		1	1 ~ 2	16.6		1	1 ~ 1	21.7	
広島	2	1 ~ 3	19.3		2	1 ~ 3	18.4		2	1 ~ 3	21.9	
山口	2	1 ~ 2	20.4		2	1 ~ 2	18.6		2	1 ~ 3	19.6	
徳島	1	0 ~ 2	45.9		2	0 ~ 4	53.8		2	0 ~ 3	50.3	
香川	1	0 ~ 1	18.7		1	0 ~ 1	45.3		1	0 ~ 1	35.3	
愛媛	1	1 ~ 2	22.8		1	1 ~ 1	19.7		1	1 ~ 2	30.8	
高知	1	1 ~ 1	18.0		1	1 ~ 1	15.2		1	0 ~ 1	26.4	
福岡	4	3 ~ 6	19.0		5	4 ~ 6	10.7		8	5 ~ 10	14.1	
佐賀	1	0 ~ 1	18.4		1	0 ~ 1	26.8		1	1 ~ 2	25.0	
長崎	1	0 ~ 1	21.0		1	0 ~ 1	30.4		1	0 ~ 2	32.8	
熊本	2	1 ~ 2	21.1		2	1 ~ 3	24.3		3	1 ~ 4	25.3	
大分	2	1 ~ 3	30.6		2	1 ~ 3	29.6		1	1 ~ 2	30.3	
宮崎	2	1 ~ 3	29.8		2	1 ~ 3	29.4		1	1 ~ 2	20.2	
鹿児島	1	1 ~ 1	15.4		1	1 ~ 1	16.3		1	1 ~ 1	17.1	
沖縄	1	0 ~ 3	66.5		0	0 ~ 1	56.5		0	0 ~ 0	35.6	
計	139	128 ~ 150	4.0		129	119 ~ 139	3.9		136	125 ~ 146	3.8	